

通常学級と通級指導教室との連携

通級指導教室は、障がいによる学習上または生活上の困難の改善・克服を目的とした指導を、児童生徒の教育的ニーズに応じて行う教室ですが、その指導内容が通常学級での学習や生活に生かされることがとても大切です。そして、そのためには、通常学級と通級指導教室との密な連携が欠かせません。指導目標に基づいて互いの役割を確認し、それぞれの学びの場でどのような指導を行っていくのかを共通理解し、実践していくことが求められています。

通級指導教室に入級している児童生徒についての連携

実践例：感情のコントロールが難しく、些細なことで暴言をはいてしまう小学校3年生の児童への指導

通級指導教室での指導

自分の気持ちの理解、気持ちの切り換え方などを学習。自分に合う気持ちの切り換え方を考え、実際に練習する。そして、いつでも必要な時に思い出すことができるように、切り換えのための方法を記したカードを筆箱に入れる。

通級指導教室での指導

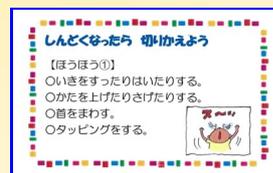
担任からの情報と照らし合わせながら本人の振り返りを行い、できたことをしっかりほめる。

通級の指導内容を通常学級で生かす

気持ちの切り換えが必要な場面で、担任が声をかけ、カードを見ながら切り換えられるよう支援する。切り換えが上手にできたときには、しっかりほめる。1週間の様子を通級指導教室担当者や家庭に伝える。

連携

連携



筆箱に入れているカード

通級指導教室担当者と通常学級担任の連携は、機を逸せず、こまめに行っていくことが大切です。学びの連続性を意識して取り組んでいきましょう！

継続的な支援によって、自分で気持ちの切り換えができるようになり、徐々に落ち着いて生活できるようになった。

通級指導教室に入級していない児童生徒についての連携

通級指導教室に入級していない児童生徒についても、通級指導教室担当者と連携を図り、個に応じた支援を行うことができます。



実践例：漢字の書きが定着しづらい児童への指導

校内での話合い

諸検査等による実態把握から、通常の学習だけでは定着が難しいと考えられた。特別支援教育主任を中心に校内委員会で話し合い、個に応じた支援を行っていくことを確認した。

通級指導教室の取組に学ぶ

特別支援教育主任が、同じ町内の通級指導教室に出向き、通級指導教室で行っている指導方法や教材の工夫等について尋ねた。家庭学習についても相談し、助言をもらった。



紹介してもらった教材の一例

個に応じた指導方法を実践

特別支援教育主任が、個に応じた指導方法や家庭学習について提案。本人・保護者と話し合い、通級指導教室の教材等にも取り組んでいくことになった。本人に合った家庭学習であり、意欲的に取り組んでいる。

通級指導教室における学びを、日々の学習や生活の中で活用し定着させていくのは、通常学級担任の役目です。通級による指導は、通常学級との連携プレーがあってこそ、その効果が高まります。また、上記の実践例のように、通級指導教室で行われている指導方法や教材・教具等の工夫は、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒へも有効です。通級指導教室に蓄積されている指導方法の工夫等を自校に取り入れ、それぞれの学校における支援の充実を図りましょう。